施 策 分 野 評 価 シ ー ト

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	6	便利で快適に暮らせるまち
施策分野	2	公共交通
10年後のめざす姿	町内における地域間の移動や、町内各地域から町外への玄関口であるJR箱根ケ崎駅を結ぶ公共交通が充実し、住民誰もが円滑に移動することができます。	

2 施策数値指標

指標名	現状値	実 績				令和7年度 目標値（実績値）
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
できれば引っ越したい理由のうちの「交通の便が悪い」の割合（の減少）	89.6%（令和元年度）	—	—	—		85%（ ）
説明・コメント		※令和6年度にアンケートを実施予定	※令和6年度にアンケートを実施予定	※令和6年度にアンケートを実施予定		-

3 予算・決算の状況

（単位：千円）

予 算 額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	37,356	114,299	122,152		
国庫支出金	0	0	0		
都支出金	8,500	26,105	26,536		
地方債及びその他の特定財源	0	0	0		
総事業費（計）	45,856	140,404	148,688	0	0

（単位：千円）

決 算 額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	54,598	75,166	103,865		
国庫支出金	0	7,988	0		
都支出金	32,040	63,817	34,947		
地方債及びその他の特定財源	1,947	0	0		
総事業費（計）	88,585	146,971	138,812	0	0

施策の評価（分析）

交通不便地域を主体とし、民間の路線バスを補うため、コミュニティバスの運行をしている。引き続き、運行計画見直し後の利用実態を踏まえ、運行継続の可否や運行形態等について検討されたい。

4 重点施策

担当課	都市計画課
基本構想・重視すべき視点	町の魅力を際立たせる

施策	1	バス交通の充実

年度	【進捗状況】(主な取組等)	【評価・査定】
令和3年度	住民の移動の円滑化、交通不便地域の解消のため、地域公共交通会議において、運行計画について検討をし、10月1日からコミュニティバスの実証実験運行を町内5コースで開始した。(都市計画課)	準備行為も含め、実証実験に向けて多くの調整を要し、運行開始できたことは大きな成果である。今後、実証実験結果等を踏まえ、将来にわたり地域公共交通を維持できるかについても検討すべきである。
令和4年度	住民意見交換会や乗降調査、アンケートを通じて、利用者ニーズを分析し、利用状況と照らし合わせ、利便性向上及び運行状況の改善のため、令和5年4月1日から運行計画を変更することとし、各種団体との調整や準備を行った。(都市計画課)	実施実験開始から1年6か月が経過し、乗降調査・住民アンケートを踏まえ、翌年度に向けて新たな運行計画に取り組み、柔軟な対応をしている事は評価できる。
令和5年度	住民意見交換会や乗降調査、アンケートを通じて、利用者ニーズの分析を行い、それまでの利用実態や地域の特性を踏まえ、新たな交通手段を引き続き研究するとともに、地域公共交通の事業継続性も含め、代替交通手段への転換などについて具体的検討を行った。	地域公共交通会議等の意見を踏まえ、迅速に町の特性を踏まえた交通手段を模索していることは評価できる。
令和6年度		
令和7年度		

担当課	都市計画課
基本構想・重視すべき視点	町の魅力を際立たせる

施策	2	多摩都市モノレールの整備促進

年度	【進捗状況】(主な取組等)	【評価・査定】
令和3年度	モノレールを呼ぼう瑞穂の会と協働した啓発活動を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から多くの事業を見送った。また、町議会とともに東京都に対し多摩都市モノレール延伸の早期実現について要望を行った。(都市計画課)	今後も関係各機関へ粘り強く要請を続けられたい。また、東京都との情報連携を密にされたい。
令和4年度	モノレールを呼ぼう瑞穂の会と協働した啓発活動を計画し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業の中止もあったが、残堀川ふれあいイベントなど計7回の啓発活動を行った。また、町議会とともに東京都に対し多摩都市モノレール延伸の早期実現について要望を行った。(都市計画課)	多摩都市モノレール延伸計画等の都市計画素案の説明会が行われ、住民の関心が高まっている。引き続き、東京都及び沿線自治体との情報連携に努められたい。
令和5年度	モノレールを呼ぼう瑞穂の会と協働した事業を計画し、町内各種イベントにおける啓発活動や都知事と衆議院議員を招いた講演会の実施など計15回の活動を行った。また、町議会とともに東京都に対し多摩都市モノレール延伸の早期実現について要望を行った。	多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想が策定され、導入空間及び都市構造のあり方について、議論、検討を進められたい。
令和6年度		
令和7年度		

5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和5年度 当初予算額	令和5年度 決算額	令和6年度 当初予算額
1	広域公共交通に関する要望活動	都市計画課	20,735	20,857	20,921
			事務事業の概要		
			町民の広域交通の利便性の向上を図るとともに、排気ガスの削減・省エネルギー対策や交通渋滞を緩和するため、町議会や加盟協議会と連携し、関係機関に対して公共交通の整備や改善等の要望活動を行う。		

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">事務事業名</th><th rowspan="2">担当</th><th colspan="2">令和5年度</th><th rowspan="2">令和6年度
当初予算額</th></tr>
<tr><th>当初予算額</th><th>決算額</th></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">地域公共交通のあり方検討</td><td rowspan="3">都市計画課</td><td>127,953</td><td>117,955</td><td>70,427</td></tr>
<tr><td colspan="3">事務事業の概要</td></tr>
<tr><td colspan="3">町の公共交通は、JR八高線と民間及び都営バス路線が町民の身近な交通網として重要な役割を担っているが、通勤や通学、買い物やレジャーなどの移動手段として十分とはいえない状況である。また、自動車保有率が高いが、今後の超高齢社会の進行を踏まえると、自動車から公共交通への移動手段の転換が大きな課題となる。住民生活の基礎となる町内の公共交通を確保・維持するため、コミュニティバスの実証実験運行を開始する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">合 計 額</td><td>148,688</td><td>138,812</td><td>20,921</td></tr>
</table>